

平成29年度(2017年度)

管理事業名	市民体育館事業				総合計画の 体系	第4章 第3節	個性がひかる学びと文化創造のまちづくり スポーツに親しめるまちづくり			
主な歳出 予算科目	一般会計	(款)	2	総務費	(項)	1	総務管理費	(目)	35	市民体育館費
部局名	都市魅力部	予算執行所属	文化スポーツ推進室							
予算大事業名	上記以外の歳出予算科目及び予算大事業名									
市民体育館管理事業										
事業の目的と概要 指定管理者制度において、市民体育館5館(片山、北千里、山田、南吹田、目俣)の管理・運営を行うとともに、安全な施設の整備に努め、健全なスポーツ活動の場を提供します。										

I 事業の成果(実績)

指標名	単位	平成27年度	平成28年度	平成29年度	成果指標の定義
施設利用者数 目標利用者数 716,314人	人	647,184	666,062	666,621	片山・北千里・山田・南吹田・目俣市民体育館の利用者数
施設使用料収入額	千円	72,684	75,252	74,745	片山・北千里・山田・南吹田・目俣市民体育館の使用料収入決算額
成果の説明	平成28年(2016年度)から施設使用料の改定により、専用使用は引き下げとなり、個人使用(トレーニング)においては利用区分をなくし、開館時間のなかで低料金で、いつでも利用できる時間制に変更しました。 平成29年度(2017年度)の利用者数は、平成28年度(2016年度)比559人(0.08%)、平成27年度(2015年度)比19,437人(3.00%)増加しました。 また使用料収入は、平成28年度比507千円(0.67%)減少、平成27年度比2,061千円(2.84%)増加しました。				

II 財務情報

◆行政コスト計算書

(単位:千円)

勘定科目	平成27年度	平成28年度 A	平成29年度 B	差額 B-A
地方税	-	-	-	-
分担金及び負担金	-	-	-	-
使用料及び手数料	72,684	75,250	74,745	△504
国庫支出金(経常費用充当)	154	171	172	1
府支出金(経常費用充当)	78	85	86	1
財産収入	-	-	-	-
寄附金	-	-	-	-
他会計からの繰入金	-	-	-	-
受取利息及び配当金	-	-	-	-
その他	32,229	31,259	30,245	△1,013
経常収入 小計(a)	105,145	106,764	105,248	△1,516
給与関係費	3,666	4,710	7,633	2,923
物件費	456,918	459,798	462,184	2,385
維持補修費	2,437	6,900	48,279	41,380
社会保障扶助費	-	-	-	-
負担金・補助金・交付金等	1	107	1	△106
特別会計への繰出金	-	-	-	-
減価償却費	194,437	194,437	194,437	-
徴収不能引当金繰入額	-	-	-	-
賞与引当金繰入額	304	680	627	△53
退職手当引当金繰入額	△140	1,779	2,687	909
支払利息	8,365	3,836	816	△3,020
その他	-	-	-	-
経常費用 小計(b)	665,987	672,248	716,664	44,417
経常収支差額(a)-(b)=(c)	△560,843	△565,483	△611,416	△45,932
特別収入	-	-	-	-
固定資産売却益	-	-	-	-
その他	-	-	-	-
特別収入 小計(d)	-	-	-	-
特別費用	-	-	-	-
固定資産除売却損	-	-	-	-
その他	-	-	-	-
特別支出 小計(e)	-	-	-	-
特別収支差額(d)-(e)=(f)	-	-	-	-
一般財源調整額(g)	-	-	-	-
当期収支差額(c)+(f)+(g)	△560,843	△565,483	△611,416	△45,932
一般財源充当額	543,864	523,494	429,543	△93,951
一般会計からの繰入金	-	-	-	-
一般会計への繰出金	-	-	-	-
再計	△16,979	△41,989	△181,873	△139,884

行政コスト計算書の主な増減理由(特徴的な事項)

勘定科目	決算額の主な内容
経常収入 その他	市民体育館主催事業 18,031千円 市民体育館行政財産目的外使用料 12,214千円
物件費	指定管理委託料 455,102千円 備品購入費 5,737千円
維持補修費	南吹田市民体育館外壁改修工事 41,548千円 南吹田市民体育館ランニング走路修繕 1,690千円 目俣市民体育館エアコン修繕 605千円

◆キャッシュ・フロー収支差額集計表 (単位:千円)

区分	平成27年度	平成28年度 A	平成29年度 B	差額 B-A
行政サービス活動収入	105,145	106,764	105,248	△1,516
行政サービス活動支出	472,116	476,116	520,278	44,162
行政サービス活動収支差額	△366,972	△369,352	△415,030	△45,678
投資活動収入	-	-	-	-
投資活動支出	-	-	-	-
投資活動収支差額	-	-	-	-
財務活動収入	-	-	-	-
財務活動支出	176,892	154,143	14,513	△139,629
財務活動収支差額	△176,892	△154,143	△14,513	139,629
収支差額 合計	△543,864	△523,494	△429,543	93,951
一般財源充当額	543,864	523,494	429,543	△93,951
一般会計からの繰入金	-	-	-	-
一般会計への繰出金	-	-	-	-
前年度からの繰越金	-	-	-	-

キャッシュ・フロー収支差額集計表の特徴的な事項

決算額の 主な内容	財務活動支出: 地方債償還金

◆単位あたりのコスト分析(「経常費用 小計(b)」を「実績」で割って円単位で算出しています。)

指標名	年度	実績	単位あたりコスト	分析内容(前年度との増減理由)
利用者1人あたりのコスト	平成27年度	647,184人	1,029円	市民体育館5館の利用者1人あたり、1,075円のコストがかかっています。 維持補修費増加により1人あたりのコストが増加しました。
	平成28年度	666,062人	1,009円	
	平成29年度	666,621人	1,075円	
開館1日あたりのコスト	平成27年度	延べ1,795日	371,023円	市民体育館1館1日あたり、399,255円のコストがかかっています。 維持補修費増加により1日あたりのコストが増加しました。
	平成28年度	延べ1,795日	374,511円	
	平成29年度	延べ1,795日	399,255円	

◆貸借対照表

(単位:千円)

勘定科目	平成28年度末 A	平成29年度末 B	差額 B-A	勘定科目	平成28年度末 A	平成29年度末 B	差額 B-A
現金預金	-	-	-	流動負債	15,193	15,432	239
未収金	-	-	-	地方債	14,513	14,805	292
流動資産	-	-	-	短期借入金	-	-	-
財政調整基金	-	-	-	賞与引当金	680	627	△53
短期貸付金	-	-	-	未払金	-	-	-
徴収不能引当金	-	-	-	リース債務	-	-	-
その他流動資産	-	-	-	その他流動負債	-	-	-
事業用資産	7,361,058	7,166,621	△194,437	固定負債	34,800	21,997	△12,803
有形固定資産	2,981,139	2,981,139	-	地方債	29,908	15,103	△14,805
土地	2,981,139	2,981,139	-	長期借入金	-	-	-
建物・工作物	4,379,919	4,185,482	△194,437	退職手当引当金	4,892	6,895	2,003
リース資産	-	-	-	リース債務	-	-	-
建設仮勘定	-	-	-	その他固定負債	-	-	-
無形固定資産	-	-	-	負債の部合計	49,993	37,429	△12,564
固定資産	-	-	-	純資産	7,573,935	7,392,062	△181,873
重要物品	262,870	262,870	-	出資金	-	-	-
図書館資料	-	-	-	長期貸付金	-	-	-
投資その他の資産	-	-	-	基金	-	-	-
出資金	-	-	-	徴収不能引当金	-	-	-
長期貸付金	-	-	-	その他債権	-	-	-
基金	-	-	-	資産の部合計	7,623,928	7,429,491	△194,437
徴収不能引当金	-	-	-	負債及び純資産の部合計	7,623,928	7,429,491	△194,437
その他債権	-	-	-				

Ⅲ 財務構造分析

▽人にかかるコストの内訳

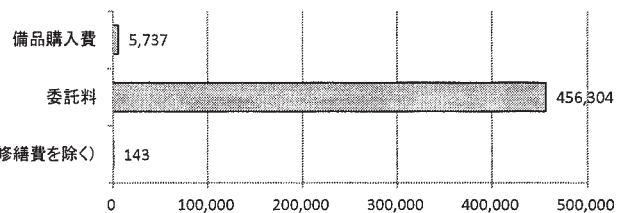
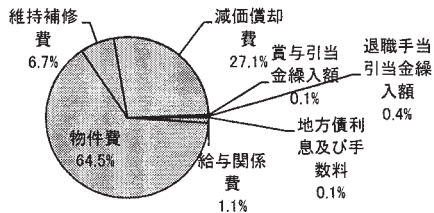
	常勤・再任用 月平均	非常勤 月平均	臨時雇用員 年間従事日数	審議会委員等 実人数	合計(千円)
事業従事人数	1.02人			4人	
給与関係費等	10,880千円			67千円	10,947
内、時間外勤務手当	291千円				

貸借対照表の主な増減理由(特徴的な事項)

勘定科目	増減理由
建物・工作物	減価償却による減
重要物品	絵画8点、書1点
地方債	地方債償還による14,513千円の減

▽経常費用の構成割合

物件費の内訳(単位:千円)



▽施設の概況

施設の名称	片山市民体育館ほか4館
取得年月日	昭和47年(1972年)10月12日(供用開始)ほか
建物・工作物の取得価額	8,700,035 千円
建物・工作物の減価償却累計額	4,514,553 千円
利用料金収入	74,745 千円

▽分析指標

分析指標	年度			差 B-A
	平成27年度	平成28年度 A	平成29年度 B	
施設維持補修費比率	0.0	0.1	0.6	0.5
施設老朽化比率	47.4	49.7	51.9	2.2
受益者負担比率	10.9	11.2	10.4	△0.8
徴収不能引当率	-	-	-	-
一般財源充当比率	83.8	83.1	80.3	△2.8
経常費用対公共資産比率	7.7	7.7	8.2	0.5

【参考:市保有施設全体の老朽化比率は57.0%】

IV 総括

▽分析結果の説明

既存施設の老朽化が51.9%と2.2ポイント進行しました。コスト全体の64.5%を物件費が占め、そのうちの98.5%を指定管理委託料が占めています。また、減価償却費がコスト全体の27.1%を占めています。

▽分析結果を踏まえた事業の課題

片山市民体育館ほか4館の市民体育館は、平成25年度(2013年度)から指定管理者制度を導入しています。前年度と比較すると、利用者数は上回りましたが、使用料収入は下回っています。今後も、利用者会議や市民アンケートなどを通して市民ニーズを把握し、情報共有に努めながら指定管理者(民間)のノウハウを活かした自主事業等を実施して、効果的、効率的な利用を図ります。平成29年度は、南吹田市民体育館東館・西館外壁工事(41,548千円)、南吹田市民体育館ランニング走路修繕(1,690千円)南吹田市民体育館冷却水ポンプ取替更新(252千円)北千里市民体育館業男女更衣室空調EHP更新(1,005千円)、北千里市民体育館業務用及びブルームエアコン更新(854千円)、北千里市民体育館会議室屋根漏水補修及び天井ボード更新工事(584千円)、北千里市民体育館談話室周辺天井裏防水パン設置(627千円)、山田市民体育館館内非常放送設備(659千円)、目黒市民体育館吸収冷温水機追加修繕工事(460千円)を行いました。備品購入として、南吹田市民体育館(2,173千円)及び山田市民体育館(3,564千円)にトレーニングマシンを設置しました。今後も備品更新・維持補修の財源確保も含め、計画的に維持補修を実施し、施設の長寿命化を図ることが必要です。